

業 種	鉄道・軌道
取組分野	内部監査
テ ー マ	経営層の正しい判断、気づきに繋がる内部監査
取組の狙い	「経営層の正しい判断、気づきに繋がる内部監査」を目標に内部監査部門が経営判断や社会環境の変化等に伴う新たな安全上の課題について客観的なデータを基に現状や課題を報告し改善提案を行う監査体制を構築し、輸送の安全性向上を図る取組
具体的内容	1. 監査チームの構成 執行役員をトップに部長・課長・課長補佐・主幹で構成し、出身部門・監査経験もバランス良く配置している。 2. 経営中枢（社長・安全統括管理者）や新任部長等へのインタビュー 従来からの各会議体議事録の確認や巡視記録等に、社長・安全統括管理者、新任の部長等へのインタビューを追加し、それぞれの役割等に対する認識や、輸送の安全確保と安全性向上に向けた対応、思いを把握している。 3. 関係役員への報告資料 2. で把握した経営中枢のリスク認識をもとに、社会の変化等に対する順応状況や客観的な根拠（アンケート調査等）に基づく分析と報告、安全上の課題に対する対策提案を実践するなど、内部監査部門が社内の客観的なデータを持ち、経営中枢に正確な情報を進言、伝達できる役割を担う 4. 監査方法等に関する振り返り 経営管理部門から監査に関する意見・要望を聴取し、監査の取組に関するPDCAサイクルを回している。 5. 監査要員の力量維持・向上のための取組 外部講習の受講や業務監査（現場に対する監査）への立会に加え、業務監査を実施する社員が運輸安全マネジメント監査研修の研修講師を務めることで、運輸安全マネジメントに関する知識の向上を図っている。
取組の効果	・経営管理部門へのインタビュー実施により、経営管理部門の関心に沿った現状把握機会（アンケート調査）が増加し、多角的な内部監査が実施可能 ・経営管理部門は、経営判断により講じた対策の有効性を確認するための仕組みとして活用 ・新型コロナウイルス感染拡大など社会環境の変更等に伴う新たな課題等に対して、社員の不安や要望等を経営管理部門に伝達し、改善を促す仕組みとして定着
事業者名	近畿日本鉄道株式会社 企画統括部 安全推進部 (連絡先：06-6775-3357)